

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年10月9日
【四半期会計期間】	第61期第3四半期（自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日）
【会社名】	アスカ株式会社
【英訳名】	ASKA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	取締役社長 杉本 篤哉
【本店の所在の場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【最寄りの連絡場所】	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地
【電話番号】	0566(36)7771(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役 総務・経理・経営管理担当 竹之内 敏昭
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期連結 累計期間	第61期 第3四半期連結 累計期間	第60期
会計期間	自平成24年12月1日 至平成25年8月31日	自平成25年12月1日 至平成26年8月31日	自平成24年12月1日 至平成25年11月30日
売上高(千円)	13,604,740	13,897,745	19,109,049
経常利益(千円)	433,364	336,104	569,129
四半期(当期)純利益(千円)	229,925	184,942	289,914
四半期包括利益又は包括利益(千円)	706,477	251,720	800,517
純資産額(千円)	5,303,321	5,530,343	5,397,362
総資産額(千円)	17,364,147	20,421,537	19,034,325
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	40.27	32.39	50.78
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	30.5	27.1	28.3

回次	第60期 第3四半期連結 会計期間	第61期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年6月1日 至平成25年8月31日	自平成26年6月1日 至平成26年8月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	6.79	11.69

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は次のとおりであります。

(ロボットシステム事業)

第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税による景気の落ち込みがあったものの雇用情勢の好転が続き、企業収益の改善や設備投資が持ち直す等、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高138億9,774万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は2億5,717万円（前年同四半期比27.9%増）、経常利益は3億3,610万円（前年同四半期比22.4%減）、四半期純利益は1億8,494万円（前年同四半期比19.6%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

消費税率引き上げに伴う需要の反動減があった結果、当事業の売上高は89億8,465万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

〔配電盤事業〕

新規得意先への受注拡大を積極的に展開した結果、当事業の売上高は16億5,399万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

〔ロボットシステム事業〕

自動車部品メーカーの海外工場向けの自動化システム及び大口の制御システムが好調に推移したこと、及び第1四半期連結会計期間より北米子会社ASKA USA CORPORATIONを連結範囲に含めた結果、当事業の売上高は23億4,549万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

〔モータースポーツ事業〕

各種イベントを企画し集客強化を図った結果、当事業の売上高は7億1,108万円（前年同四半期比3.7%増）となりました。

〔人材教育事業〕

新規得意先に対する受注活動を積極的に展開した結果、当事業の売上高は2億251万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は3,898万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,715,420	5,715,420	名古屋証券取引所(市場 第二部)	単元株式数100株
計	5,715,420	5,715,420	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	5,715,420	-	903,842	-	901,555

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 5,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,708,900	57,039	-
単元未満株式	普通株式 820	-	-
発行済株式総数	5,715,420	-	-
総株主の議決権	-	57,039	-

(注) 証券保管振替機構名義の株式5,000株は、完全議決権株式(その他)欄の株式数に含まれておりますが、同機構名義に係る議決権50個は、同欄の議決権の数には含まれておりません。

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アスカ(株)	愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地	5,700	-	5,700	0.10
計	-	5,700	-	5,700	0.10

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,461,032	1,301,242
受取手形及び売掛金	3,600,149	2,838,438
商品及び製品	114,446	111,202
仕掛品	781,532	1,186,476
原材料及び貯蔵品	273,350	287,492
その他	699,332	843,237
流動資産合計	6,929,843	6,568,090
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,947,920	3,241,637
機械装置及び運搬具(純額)	1,148,656	1,061,174
土地	4,443,149	4,766,265
その他(純額)	1,097,936	2,474,625
有形固定資産合計	9,637,662	11,543,702
無形固定資産	14,571	14,229
投資その他の資産		
投資有価証券	1,685,446	1,522,763
その他	766,801	772,752
投資その他の資産合計	2,452,247	2,295,515
固定資産合計	12,104,481	13,853,447
資産合計	19,034,325	20,421,537
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,476,775	1,717,754
短期借入金	1,180,000	3,420,000
1年内返済予定の長期借入金	2,127,828	2,080,721
未払金	2,159,455	1,836,982
未払法人税等	196,282	67,005
賞与引当金	15,634	117,934
その他	571,950	1,060,586
流動負債合計	8,727,927	10,300,985
固定負債		
長期借入金	3,908,296	3,502,212
退職給付引当金	618,814	629,275
役員退職慰労引当金	266,290	281,665
その他	115,634	177,054
固定負債合計	4,909,036	4,590,208
負債合計	13,636,963	14,891,194

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	901,555	901,555
利益剰余金	2,942,648	3,007,573
自己株式	3,505	3,537
株主資本合計	4,744,541	4,809,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	581,979	661,392
為替換算調整勘定	65,542	53,395
その他の包括利益累計額合計	647,522	714,788
少数株主持分	5,298	6,120
純資産合計	5,397,362	5,530,343
負債純資産合計	19,034,325	20,421,537

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	13,604,740	13,897,745
売上原価	12,428,235	12,615,849
売上総利益	1,176,504	1,281,895
販売費及び一般管理費	975,383	1,024,717
営業利益	201,121	257,178
営業外収益		
受取利息	9,118	5,151
受取配当金	19,555	23,233
受取地代家賃	28,808	38,849
為替差益	140,873	8,950
その他	82,837	44,216
営業外収益合計	281,194	120,401
営業外費用		
支払利息	38,149	35,341
その他	10,801	6,134
営業外費用合計	48,951	41,475
経常利益	433,364	336,104
特別利益		
投資有価証券売却益	-	24,340
特別利益合計	-	24,340
特別損失		
減損損失	62,040	-
特別損失合計	62,040	-
税金等調整前四半期純利益	371,324	360,445
法人税、住民税及び事業税	192,585	183,174
法人税等調整額	51,223	7,361
法人税等合計	141,361	175,813
少数株主損益調整前四半期純利益	229,962	184,631
少数株主利益又は少数株主損失()	37	310
四半期純利益	229,925	184,942

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	229,962	184,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315,418	79,412
為替換算調整勘定	161,095	12,323
その他の包括利益合計	476,514	67,088
四半期包括利益	706,477	251,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	705,151	251,898
少数株主に係る四半期包括利益	1,325	177

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、ASKA USA CORPORATIONは、重要性が増したため、連結の範囲に含めておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)
減価償却費	601,686千円	591,511千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月26日 定時株主総会	普通株式	57,096	10	平成24年11月30日	平成25年2月27日	利益剰余金
平成25年6月27日 取締役会	普通株式	22,838	4	平成25年5月31日	平成25年8月9日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年2月26日 定時株主総会	普通株式	39,967	7	平成25年11月30日	平成26年2月27日	利益剰余金
平成26年6月26日 取締役会	普通株式	17,128	3	平成26年5月31日	平成26年8月8日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	9,127,083	1,563,130	2,038,536	685,943	190,047	13,604,740	-	13,604,740
セグメント間の内部 売上高又は振替高	957	10,960	26,608	750	2,629	41,904	41,904	-
計	9,128,040	1,574,090	2,065,144	686,693	192,676	13,646,645	41,904	13,604,740
セグメント利益	3,453	6,697	70,945	64,955	44,449	190,501	10,620	201,121

(注)1.セグメント利益の調整額10,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	配電盤事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	人材教育 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	8,984,653	1,653,990	2,345,492	711,089	202,518	13,897,745	-	13,897,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	665	107,320	54,172	375	5,429	167,962	167,962	-
計	8,985,319	1,761,311	2,399,664	711,464	207,947	14,065,708	167,962	13,897,745
セグメント利益	34,284	83,421	43,422	55,946	29,483	246,558	10,620	257,178

(注)1.セグメント利益の調整額10,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	40円27銭	32円39銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	229,925	184,942
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	229,925	184,942
普通株式の期中平均株式数(株)	5,709,684	5,709,664

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成26年6月26日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....17,128千円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成26年8月8日

(注) 平成26年5月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月 8日

アスカ株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 裕之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 隆行 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアスカ株式会社の平成25年12月1日から平成26年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年12月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アスカ株式会社及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲には、X B R Lデータ自体は含まれておりません。